

# 破天荒

教宣部

4969号

2014年

3月27日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合



## 2014春闘 集約の方向です

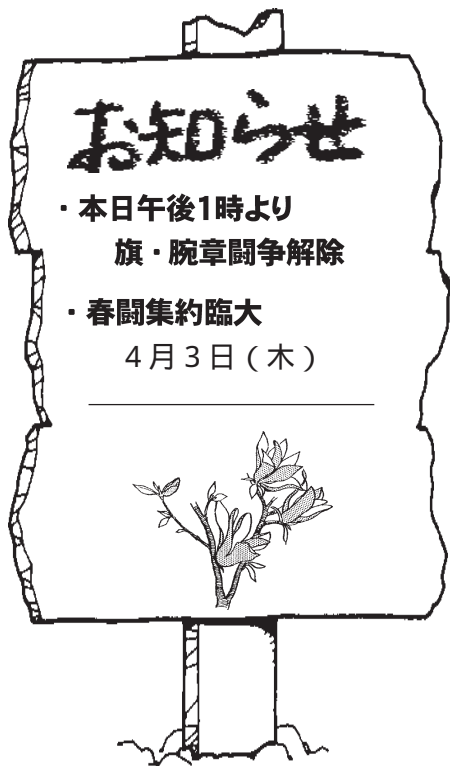
先日、二〇一四春闘三回目の賃上げ交渉を行いました。回答日から具体的前進は何も無し。今年こそは賃上げを期待していたのですが、竹中の本人給表は二〇一一年に改訂されたっきりです。

### 給与辞令

定昇のみの回答なので四月一日からの分が年齢に応じた賃金となります。

- 30歳 255,500円
- 40歳 339,600円
- 50歳 385,400円
- 59歳 406,900円

という賃金水準を会社は決して低くはないとしていますが、13年前に50歳だった人と現在50歳の人では同じ賃金を得るわけですが、控除ばかり増え残った金で生活しようにも質は下がるば



かりです。

会社は、消費税が四月より8%に上がり生活給である賃金が目減りするのはいは理解している。13年間ベアができていないけれども赤字会社を抱える中、定昇は必ず実施するしこれからやるつもりだ。大手がベアを行っているが賃下げやリストラをしてきた中でこの

### 再雇用

と。だが、我々は違う。「従業員の生活を守るといいうことだ」と認識している。今年の世間賃上げを見て来年のベアに是非生かしてもらうことを要請しました。

### 最低賃金

835円から840円になったものの、要求の趣旨は受け入れられないそうです。契約社員の方々に付いては毎年五月頃、10円ぐらいのアップがされるそうです。

これから再雇用される人は、週三日勤務の八万三千円で生活できないだろうと考えている。夫婦二人の標準生計費を念頭に置いていると発言。議事録などの文書化は出来ないかという問いに対しては「うん」と唸っていた。

### 従業員代表

来週の月曜、昼休みにシステムで選出選挙が行われるそうです。誰がなっても明るく働きやすい職場にしてくれることを望みます。

### 春闘が終わって

春闘も賃上げゼロ。消費税増税は知ったことではないし、システムが赤字続きなんだから賃上げなんて検討できませ…で終了。私たちの生活は後退です。会社が過去に発言していたことも無視され、今後に夢も希望も見出すことができない交渉でした。従業員の立場から見た意見ですが、今後に夢と希望

が持てる経営を求めます。今年500円でも良いからベアスアップするべきでした。エンジの姿が理想的として各社でエンジ化を推進することは見直す時期のように思えます。あるべき姿を追求という経営目標が一般社員には？です。労働組合を弱体化し無くすことあるべき姿の一つであることは分かっています。

が…。あるべき姿の前に会社として一般的な社会的責務を果たす努力をして下さい。(国の指針などは努力義務だから守る必要はないと考えているのは寂しい限り)。エンジでは、だつた…発言は辞めましょう。精神論でなく、仕事が面白い、職場が楽しい、会社が好きだという感情を持てるような経営を期待します。

### LEADERSを見て

先日、TBSテレビ2夜連続ドラマを見ました。トヨタ自動車の創業当時を基本にしたもので、主役(愛知佐一郎)豊田喜一郎がモデル)を演じる佐藤さんは素晴らしい出来でした。第二次世界大戦前当時、国産車を作るのは無謀と言われていたなかで、日本人の為に車を、日本人の手によってゼロから全て作り上げる。それが僕の理想の国産車だ。」と集めた従業員たちの前で演説する場面は圧巻でした。そこから外国車をネジ一本に分解して又、組み立て構造を頭に叩き付ける工程からスタート、気の遠くなる第一歩でした。

後半のストーリーでは車作りは順調に行きますが、時代が悪く、戦後日銀の金融引き締めによる大不況、失業者が町に溢れアイチ自動車(トヨタ)も同様。従業員は家族だ、どこにいない家族がいる」と資金調達に東奔西走する社長、しかし1600名のリストラを敢行しないと日銀からの融資はストップする、そしてドラマの最後の場面を向かえる。

車作りのみならず、従業員と会社との関係を考えさせてくれるドラマでした。

